

# 充実のガレージライフは、 念願の俺だけの隠れ家!



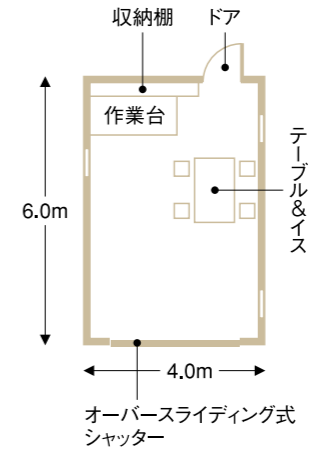
ガレージドアやドア枠、破風板などの塗装は中西さんの手によるもの。「うまく塗るのに手こずったし、何回も塗るのはかなり体力を消耗しました」と笑う

ずっと叶えなかった思いが、現実になったとき、そこは夢が爆発する自分だけの空間になる。製作者の中西さんの熱さが詰まった隠れ家だ。

文・取材◎本誌編集部／写真◎竹内美治



間口4m、奥行が6mあるので、車を駐車しても、それほど閉塞感がない。これなら十分にDIYを行なえそう。



すっきりしたガレージ内部は、施主の中西さんにとって「やっと手に入れた隠れ家」と夢の空間だ。内部がスケルトンのため、「これから好きなように改造していけるので楽しみ」とか

**幼** 少のころから工作が得意だったという施主の中西新一朗さんは「昔からどうしても欲しかった」というガレージを購入することになったとき、「どうせなら、できることは自分で作業したいと思って」とキットをセレクトしたと話す。

それでも組み立てになかなか時間が取れないということもあり、「内部をスケルトンの状態で引き渡してくれる自由度の高い、(株)キットハウスさんが扱

っているガレージを選びました」完成したガレージの内部には、構造材を利用した棚やそれを補強にいかした作業台が作られている。ここには愛用の工具類が並び、「車の整備やDIY作品を作る時に便利」という。また、壁面にはパンチングボードが取り付けられ、収納スペースを広げている。

無塗装のままだったガレージドアや2カ所あるドアをグリーンにペイントしたのは中西さん。「ムラにならないように、色を

何度も重ね塗りしました。思った以上に面積があるし、これ以外と大変ですよ笑」昨年12月に完成したガレージは、まだまだ内部は未完成だが、将来はロフトをフローリング仕様にシアタールーム兼用の書斎を作りたいと夢を語る。「すべてができていないからこそ、今後、やりがいと楽しみがあります。私の隠れ家ですからね、夢はいっぱいです」と話す中西さんのガレージライフはスタートしたばかりだ。



構造材を利用して作った棚と作業台。シンプルながら、愛用の工具がきれいに置かれている

## 雨の日でも濡れない電動式シャッター

ガレージのオーナーなら、ぜひ欲しいのが電動式シャッターだ。中西さんも例に漏れず、「リモコン式なので外でシャッターを開けば、雨に濡れずに自宅に帰れます」と話す。取り付けが複雑なので、施工は業者だがドアの塗装は中西さんだ。

上ノガレージドアはリモコン&モーターで室内に開閉する。中西邸のガレージは木製だが、スチール製にすることも可能だ。下ノトラスや壁面、ガレージなど採光部が多いので、シャッターを締め切った状態でも内部は明るい。ガレージドアの裏側にも塗装されているところに注目!



03 3カ所ある窓は、写真のようにはめ殺しになっている。半分が引き下げ窓として開閉することができる。

04 上部に見えるロフトには、シアタールームが製作される予定。屋根の野地板がむき出しになっていて、検印がそのままになっているが、これが味のあるアクセントの役目に。



限られたスペースを収納に使うのにパンチングボードがいかされている。

**施主DATA**  
中西新一朗さん (37歳・会社員)  
DIY歴 1年  
家族構成 妻、長男、長女

**ガレージDATA**  
モデル ウィークエンダーガレージハウス24 (キットハウス取り扱い)  
広さ 約36㎡  
実働製作日数 約14日  
製作費用 約250万円  
基礎 ベタ基礎+布基礎